

# 第七次国有林野施業実施計画書（案） （中部山岳森林計画区）

計画期間 自 令和 8 年 4 月 1 日  
至 令和 1 3 年 3 月 3 1 日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとに定める5年間の計画である。

本計画の計画期間は令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間である。

## 目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域 .....	1
2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法 及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
（1） 伐採造林計画簿 .....	1
（2） 水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等 .....	1
（3） 水源涵養 <sup>かん</sup> タイプの施業群別の上限伐採面積 .....	2
（4） 伐採総量 .....	3
（5） 更新総量 .....	5
（6） 保育総量 .....	5
3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積 .....	6
4 林道の整備に関する事項 .....	7
5 治山に関する事項 .....	8
6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
（1） 保護林の名称及び区域 .....	9
（2） 緑の回廊の名称及び区域 .....	13
7 樹木採取区の名称、所在地及び面積 .....	13
8 レクリエーションの森の名称及び区域 .....	14
9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備 及び保全等に関する事項	
（1） 森林共同施業団地の名称及び区域.....	20
（2） 公益的機能維持推進協定の名称及び区域.....	20
10 その他必要な事項	
（1） 施業指標林、試験地等 .....	20
（2） フィールドの提供 .....	21

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha、年)

施 業 群		面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
施 業 群	小面積分散伐区	2,294.26	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	ス     ギ     60 ヒ   ノ   キ     75 カ ラ マ ツ     60 ア カ マ ツ     75
	長   伐   期	580.61	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	ス     ギ     120 ヒ   ノ   キ     150 カ ラ マ ツ     100
	人工林複層伐 (植栽型)	446.31	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	(常時複層) ス     ギ   120[60] 85[60] ヒ   ノ   キ   150[75] 100[75] カ ラ マ ツ   100[60] 85[60] (一時単層) ス     ギ     80[60] ヒ   ノ   キ     95[75] カ ラ マ ツ     80[60]

(単位：ha、年)

施 業 群		面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
	人工林面的複層伐 (植栽型)	68.07	複数の小班からなる一団のまとまりの人工林において、帯状又は群状で伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	スギ 120[60] 85[60] ヒノキ 150[75] 100[75] カラマツ 100[60] 85[60]
	天然林複層伐 (天然更新型)	186.28	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針葉樹 200 広葉樹 180
	人工林択伐	993.37	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	針葉樹 95(35)
	天然林択伐	1,325.15		針葉樹 200(35) 広葉樹 180(25)
	そ の 他	5.21	試験地等の設定目的による森林。	
合 計		5,899.26		

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 ( ) は回帰年、[ ]は複層林の初回伐採の伐期齢である。

3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたもの。

(3) 水源<sup>かん</sup>涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備 考
通常伐期施業	152.95	小面積分散伐区
長伐期施業	19.35	長伐期
複層林施業	57.15	人工林複層伐（植栽型）・人工林面的複層伐（植栽型）
天然林・その他施業	341.01	天然林複層伐（天然更新型） 人工林択伐・天然林択伐

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の主伐面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、上限伐採面積に含まない。

## (4) 伐採総量

(単位: m<sup>3</sup>、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	(68.96) 14,845	(1,192.03) 126,471	(1,260.99) 141,316				
	(68.96) 14,845	(1,091.01) 116,834	(1,159.97) 131,679				
		(101.02) 9,637	(101.02) 9,637				
自 然 維 持 タ イ プ		(25.29) 2,274	(25.29) 2,274				
森 林 空 間 利 用 タ イ プ		(12.50) 1,625	(12.50) 1,625				
快 適 環 境 形 成 タ イ プ							
水 源 涵 養 タ イ プ <small>かん</small>	(189.31) 71,603	(626.97) 60,284	(816.28) 131,887				
	(155.28) 55,812	(397.97) 34,463	(553.25) 90,275				
		(95.23) 9,875	(95.23) 9,875				
		(26.85) 4,344	(26.85) 4,344				
	(34.03) 15,791	(8.92) 1,701	(42.95) 17,492				
		(98.00) 9,901	(98.00) 9,901				
合 計	(258.27) 86,448	(1,856.79) 190,654	(2,115.06) 277,102	19,898	297,000		297,000
年平均	(51.65) 17,290	(371.36) 38,131	(423.01) 55,420	3,980	59,400		59,400

(注) ( ) 書きは、伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m<sup>3</sup>)

市 町 村 名	林 地		
	主 伐	間 伐	計
松 本 市	29,538	82,623	112,161
大 町 市	6,502	26,465	32,967
塩 尻 市	49,131	62,198	111,329
安 曇 野 市	1,277	6,295	7,572
松 川 村		1,811	1,811
白 馬 村		4,676	4,676
小 谷 村		6,586	6,586

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	4.41				98.57	102.98
	複 層 林 造 成	28.55				20.42	48.97
	計	32.96				118.99	151.95
天 然 更 新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	ぼ う 芽						
	計						
合 計		32.96				118.99	151.95

## (6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ	合 計
保 育	下 刈	111.48				558.97	670.45
	つ る 切						
	除 伐	11.93				98.01	109.94
	枝 打						
	計	123.41				656.98	780.39



### 3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位：ha)

所在地（林小班）	面積
147い・ろ・ち、148い～へ・る、149ほ・と・ち、150ち、151い、152い・ち・ら、153い・な、 218は、236ろ・わ・つ1・つ2・ね・ら～ふ・え・め、243い・ほ・か、319ろ・は、320ち、 325い、326に、327は、328に、329い、332ろ、334ほ・へ、337い、338ほ、343い、344り、 346い・ろ・に、348い～ほ・と、358い・ろ・ほ・へ、362へ、363ろ、364い・ろ、367い、 368い、385い・よ・れ、388い・に・る、396ち、399い～は・ほ・と・よ、400ろ・に・り～る・か・ た・つ・ね、401ろ、629は・ち、1503は、1511い、1515は、1516い・に、1523い～に・へ・と、 1524い・ろ・と・り～る、1534い～は、1539ろ・は、1541い、1542い・ろ、1546い、 1547い・に～へ・り、1548は、1549い・は～へ、1551へ、1553に、1558ろ・に、1573ろ・は、 1577へ、1578ろ・に～へ、1579ろ、1580と～り、1582は・る～れ・つ、1584ろ、1590い、 1591ろ、1593ろ～ほ・と～り、1594ろ～る、1598い～へ・ち・り・る・た、1599い、1600い～ぬ・ た・れ、1601は・に・へ・ち・わ・よ、1602い～に・へ～ぬ、1603い・ろ・へ～ち、1605い・る	880.27

(注) 林地以外の土地の面積を含まない。

## 4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	開設	鹿島川（大ゴ沢）	503 1箇所	1,000	
		計	1箇所	1,000	
	改良	湯川	138 1箇所	20	
		横川	(民有地内) 2箇所	78	併用
		乳川馬羅尾（馬羅尾）	582・587 1箇所	14	橋梁架替
		奈川黒川（奈川）	396 1箇所	36	
		奈良井	1515・1548 1箇所	125	橋梁架替
		賛川橋戸（橋戸）	1616 5箇所	172	併用
		賛川橋戸（賛川）	1601・1602 2箇所	125	
		計	13箇所	570	
その他	開設	羽淵	1501・1502・1504 1箇所	1,000	
		奈良井支線	1509・1510 1箇所	1,000	
		計	2箇所	2,000	
	改良	境峠	400 1箇所	23	
		福沢	1605・1606 1箇所	95	
		計	2箇所	118	
合計	開設		3箇所	3,000	
	改良		15箇所	688	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

## 5 治山に関する事項

(単位:保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計画量
大川沢、大合沢、岩小屋沢、扇沢、白沢、芦間川、合戦沢、 北股、白川下流、白川上流、奈良井坊主岳、贅川坊主岳、 贅川沢、橋戸沢、六百、又白、西穂、湯川、浦川、横川	保 全 施 設	溪 間 工	20
合戦沢、糠沢、奈良井坊主岳、橋戸沢、北股、長堀、焼岳、 中ノ湯、湯川、坂巻、浦川、横川	保 全 施 設	山 腹 工	12
又白、西穂	保 全 施 設	そ の 他	2
中部山岳森林計画区管内の保安林区域内 (予定地含む)	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	160.44
合 計	保 全 施 設	溪 間 工	20
		山 腹 工	12
		そ の 他	2
	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	160.44

(注) 1 位置は、単位流域を表す。

2 保全施設の計画量(箇所)は、単位流域の数を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

## 6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
森林生態系保護 地 域	北 ア ル プ ス (金 木 戸 川 ・ 高瀬川源流部)	3,647.06		<p>日本海型から太平洋型気候の推移帯である本州中部に位置し、また、標高が1,300m～3,200mの範囲におよぶ北アルプス（飛騨山脈）を代表する原生的で多様な天然林が存在している。</p> <p>自然環境の維持、動植物の保存、新しい時代における森林に関する技術の発展、学術研究に資するための森林の生態系を保護する。</p> <p>北アルプスを代表する原生的な天然林で亜高山帯から高山帯への推移が顕著であり、動物の種類も豊富であることから、保護・管理する。</p>	
	保存地区	1,598.47	549ろ・ロ 589は・イ・ハ・ニ		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           中部山岳： 1,598.47            宮・庄川： 3,869.75            計： 5,468.22         </div>				
	保全利用地区	2,048.59	549い・に・ほ・イ 588ハ・ニ・ヘ・ト 589い・ろ・ロ・ホ		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           中部山岳： 2,048.59            宮・庄川： 582.58            計： 2,631.17         </div>				
計	1 箇所	3,647.06			

(単位:ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集保護林	雨飾・天狗原山	1,565.06	601は、602は・イ 603よ・ロ 607い～ほ・イ 608い～は・イ 610イ、611に・イ 612へ	豪雪地帯における典型的な 日本海型のブナ植物群落を保護・管理する。	
	北アルプス (朝日・白馬連山)	1,281.19	621イ・ト 625イ・ロ・ハ・チ・リ 626イ・ハ 627イ	我が国でも有数の高山植物 の豊富な地域で、国の特別天然記念物となっている高山植物群落を保護・管理する。	
	梓川・霞沢 ・焼岳	2,572.24	74ろ・イ、75イ 79い、80い・イ・ロ 81い～ほ・イ・ロ 82い～ほ・ロ・へ 83ロ、84ハ、85リ 86ロ、87ろ・イ 117い・ろ・イ・ロ 118い・ろ・イ～ハ 119い・ろ・イ～ハ 120い・イ～ハ 121い～に・イ・ロ 122い～は、124い 125い・ロ 126い・ロ～ニ 127い・ロ	上高地に至る梓川溪谷一帯 の亜高山性の天然林及び霞沢 山一帯の高山植物等の原生的 な植生、噴出溶岩等特異な山 容を示す焼岳一帯を保護・管理する。	
	北アルプス (蝶ヶ岳・大天 井岳・槍ヶ岳・ 穂高岳)	7,161.15	14イ、15イ、18イ 94い・イ・ロ 95い・イ、100い・ロ 101い・ロ 102い・イ・ロ 103い・イ・ロ 104い・イ～ハ 105い・イ～ニ 106い・ろ・ハ・ニ 107い～は・ロ・ニ・ホ ト・チ 108ろ～に・ロ・ハ 109い・ロ・ハ	高山帯はハイマツ群落を形成し、亜高山帯上部はダケカンバ、クロベ、ヒメコマツ群落を保護・管理する必要がある。	

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集保護林	北アルプス (蝶ヶ岳・大天 井岳・槍ヶ岳・ 穂高岳) 続き		110い・イ、111い・ロ 112ロ、113は・ロ 114に・イ・ハ、115ほ 210い・イ・ロ 211わ・イ、212い・イ 220は・イ、221は・イ 222ろ・イ、223ろ・イ 224ろ・イ、227イ		
	鷲 羽 岳 硫 黄 高 瀬 溪 谷	2,550.30	548い・ろ・は・イ 588い～は・イ・ロ・ホ チ～ヌ	天然カラマツ、キタゴヨ ウ、コメツガ等から構成され る亜高山帯針葉樹林を保護・ 管理する。	
	北アルプス (黒 部・五竜・針ノ 木・白沢天狗)  <div> <div>中部山岳： 3,217.48</div> <div>神通川： 7,535.39</div> <hr/> <div>計： 10,752.87</div> </div>	3,217.48	508に・イ、509は・イ 510ハ、512イ、513イ 514イ、515イ、516と 517い・ろ、518い～は 519は・に 520ぬ～わ・イ、521イ 523イ・ロ、524イ 525イ、532イ	コメツガ、シラビソ、ダケ カンバ等から構成される亜高 山帯、ハイマツ等からなる高 山帯及び高山植物群落を保 護・管理する。	
	乗 鞍 岳  <div> <div>中部山岳： 1,605.84</div> <div>宮・庄川： 4,133.84</div> <hr/> <div>計： 5,739.68</div> </div>	1,605.84	126に・イ、127に・イ 128た・れ・ニ 129ち・リ・イ・ロ 130は・に 134ろ～に・イ 135ろ～に・イ 136ほ～と・イ・ロ 137へ・と・イ・ロ 143ほ～と・イ～ハ 144リ・ぬ・た・イ・ロ へ・ト 145と・た・イ 146ろ・は・イ 147と・る・イ 148よ・た・イ	乗鞍岳山頂部に広がる火山 群カルデラ (湖沼) 等の特徴 ある地形・地質と、亜高山帯 から高山帯に分布する植生等 により構成される生態系、景 観等を保護・管理する。	
計	7 箇所	19,953.26			

(単位：ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
希 少 個 体 群 保 護 林	風吹スギ遺伝資源	11.26	632い2・ち	我が国有数の豪雪地帯に生息するスギ天然林は希少であり、その遺伝資源を保護・管理する。	
	鹿島ヒノキ等遺伝資源	10.94	502ら2・む・う	我が国のヒノキ分布の北限部の一つである希少天然林であり、その遺伝資源を保護・管理する。	
	湯俣キタゴヨウマツ・カラマツ遺伝資源	63.76	547ほ～と・る・わ	カラマツ等と混成するキタゴヨウマツの大面積群落であり、その遺伝資源を保護・管理する。	
	上高地ケシヨウヤナギ	50.90	86に、89に 90は・イ、110ろ・ロ	昭和3年に我が国で最初に発見され、分布が限られている希少樹種のケシヨウヤナギ等の遺伝資源を保護・管理する。	
	梓 湖	302.25	141い～は・イ～ニ 155い～は	この地域を代表するミズナラ、カンバ等の天然性広葉樹林の植物群落を保護する。	
計	5箇所	439.11			

## (2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位：km、ha)

名 称	延 長	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑 の 回 廊 雨 飾 ・ 戸 隠	10.4	1,983.75	609林班 610い・ろ 611い～は・ほ 612い～ほ・と 613林班 614林班 615林班 616林班	<p>緑の回廊設定区域は、雨飾・天狗原山生物群集保護林から千曲川下流計画区にまたがり、野生動物の日常行動や季節移動等の経路をつくることにより、個体の交流を促す等、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は、ブナを主とする広葉樹天然林が大半を占めている。</p> <p>施業については「緑の回廊雨飾・戸隠設定方針」による。</p>	
合 計	10.4	1,983.75	<div> <div> <div>中部山岳：1,983.75</div> <div>千曲川下流：1,808.34</div> <div>計：3,792.09</div> </div> </div>		

## 7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし



## 8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
自然観察 教 育 林	扇 沢	22.10	524と・る・よ 525ろ・は・る・か・ つ～な	黒部ダム・立山黒部 アルペンルートの玄関 口に位置しており、白 馬方面、三俣蓮華岳方 面への登山の基地と なっている。周囲は亜 高山性樹種を主体とす る森林に囲まれ、山岳 景観が優れており、多 くの利用者が集まるこ となどから自然観察教 育林の場として適して いる。	天 然 生 林	・ トロリー施設 (民間)  ・ 歩道 (大町市)  ・ 駐車場 (大町市・民間)		
			524口～ニ・ト・チ・ タ～ネ 525ト		林 地 以 外			
	上 高 地	608.77	84ろ・へ、85に	大正池を初めとする 湖と湿原を有する平準 な梓川一帯にある。北 アルプスを背景にした 涸沢、横尾、梓川の溪 谷美など素晴らしい自 然景観に恵まれ、容易 に訪れることができる ことから、自然観察教 育の場として適してい る。	育 成 複層林	・ 歩道 (長野県・環境省 ・松本市)  ・ 山小屋・旅館 (民間)  ・ 駐車場 (長野県)  ・ 便所 (環境省・松本市)  ・ 野営場 (民間)		
			82へ、83ろ～ほ・ と～る、84は～ほ・ と～り、85ろ・は・ ほ～ち、86い 88ろ、100ろ 111ろ・は、112ろ 113ろ、114ろ・は 115は・に・へ 116ろ、117は 118は		天 然 生 林			
			82ハ～ホ・ト 83イ・ハ～ト 84イ・ロ・ニ～リ 85イ、86イ・ハ 89イ、100ニ 106イ、107ハ・リ・ヌ 111イ・ハ～ホ 112イ、113イ 114口、115イ 118ニ～へ		林 地 以 外			
計	2箇所	630.87						

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
野 外 ス ポー ツ 地 域	岩 岳	160.23	628な、629へ・リ・ぬ ・る1～る3・よ～れ・ む・お・く・や1・や2・ ま	白馬・小谷村界の岩 岳山の西側斜面に位置 し、標高1, 0 0 0～ 1, 3 0 0 mの地域 で、東側の民有地と一 体となり、歴史ある岩 岳スキー場として発展 してきており、山頂に は白馬三山（白馬岳、 杓子岳、白馬鍵ヶ岳） を望める展望エリアや 「ねずこの森自然探勝 路」が設置され、ス キーからトレッキング に等に至るまで、通年 型利用が可能となっ ている。	育 成 複層林	・ 歩道 (白馬村・第三セク ター)  ・ 園地 (第三セクター)  ・ スキー場 (民間)		
			628ら 629ほ・わ・か1～か 6・う・の		天 然 生 林			
			629ハ		林 地 以 外			
	乗 鞍	195.67	144そ・つ	北アルプスの最南端 に位置し、標高が高 く、雪量が多いことか らスキーシーズンが長 い。雪質も良好で初心 者から上級者まで対応 できる富んだコースを を持つスキー場として 親しまれ、隣接地の観 光施設と一体的に四季 を通じて利用されてい る。	育 成 複層林	・ スキー場 (民間)  ・ 歩道 (長野県)		
			142い、144い～は・ る・わ～よ・ね・な		天 然 生 林			
			142イ 144ハ～ホ・チ		林 地 以 外			
	奈 川	50.84	402に、403へ 405ろ～と 406ろ	旧奈川村の鉢盛山西 麓に広がり、乗鞍、穂 高、御岳の眺望に優れ ている。県の本曾路原 高原休養開発計画の一 環としてスキー場開発 がされてきた地域であ る。緩急に富んだ地形 で雪質も良く、主に中 京方面の利用者に親し まれている。	天 然 生 林	・ スキー場 (松本市)		
			405イ～ハ		林 地 以 外			
計	3箇所	406.74						

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風 景 林	天 狗 原	239.39	635ろ～に	白馬乗鞍岳直下の平坦地にあり、チングルマ、ワタスゲ等が生育する高層湿原と、わい小化したアオモリトドマツ等を主とする森林からなり、森林限界付近で明るい景観を呈している。	天 然 生 林			
			653ロ・ハ		林 地 以 外			
	中 房 溪 谷	294.20	203わ、204ろ・と～ る・よ・つ・ね・む・ の・お 205ろ～に、208は 211に 203ら、204い・は・ に・へ・か・た～そ・ ら・う・く 205い・ほ、208い・ ろ・に、209と、210 に・へ・ち、211い～ は・ほ・た 212へ・と、213ろ 215む・う 204ロ、205ロ・ハ 208へ・チ、215イ	県道槍ヶ岳・矢村線沿線から中房溪谷・中房温泉周辺を区域としており、四季折々訪れる多くの湯治客や登山者等を魅了する美しい自然景観と色調の森林美を構成している。	育 成 複層林	・旅館 (安曇野市)  ・駐車場 (安曇野市)		
					天 然 生 林			
	乗 鞍 岳	110.00	143に 144ち 143ニ・ホ	乗鞍高原から優美な姿で知られる乗鞍岳の高山帯にかけて県道乗鞍岳線が作設されており、三本滝上流の標高2,000m付近から位ヶ原山荘付近の標高2,450mにかけての道路の沿線を区域とし、亜高山帯植生から高山帯植生へと変化する地形・巨樹と枯損木の調和等優れた景観を構成している。	天 然 生 林	・山小屋 (民間)		
					林 地 以 外			

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
風 景 林	浅 間 ・ 湯 の 原	44.82	251-1は 251-2い 251-3ほ	浅間温泉及び美ヶ原温泉の後背林となっている。林内には、神社及び散策路があり、市民等に親しまれている。	育 成 複層林	・園地 (松本市)		
			251-1い・ろ・に 251-2ろ 251-3い〜に		天 然 生 林			
			251-1イ 251-3イ〜ハ		林 地 以 外			
	ビ ー ナ ス ラ イ ン	28.78	247わ〜た・そ・の 248ほ・へ	三峰山から扉峠に至る比較的なだらかな山稜をなす帯状の一帯であり、ビーナスライン及び信濃路自然歩道の沿線に位置している。カラマツ、コメツガ、カンバ、レンゲツツジ等が、色調に変化のある景観を作り出している。	育 成 複層林			
			248に・リ		天 然 生 林			
			247イ〜ハ		林 地 以 外			
	権 兵 衛 峠	80.72	1553ろ 1554ろ	伊那谷と木曽谷北東部の分水嶺となる権兵衛峠一帯は木曽ヒノキ、サワラ、モミ、コメツガ等が混交する天然林で、歴史のある峠一帯の優れた景観を構成している。	育 成 複層林			
			1553い・ほ 1554い・は〜ほ		天 然 生 林			
計	6箇所	797.91						

(単位：ha)

種 類	名 称	面 積	位 置（林小班）	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風 致 探 勝 林	美 ケ 原	546.00	245い～に・へ・と・ぬ～よ 246い・ろ・に・ほ 252ほ・と・り	八ヶ岳中信高原国定公園の一角を占める美ヶ原一帯は、高原台地の牧場と一体となった矮性化したカラマツ人工林と草原、富士山を始め南北・中央アルプスの山々の眺望等が優れ自然探勝の場として適している。	育 成 複層林	・歩道 （長野県・松本市）  ・旅館 （民間）  ・園地 （長野県・松本市）  ・建物 （長野県）  ・林道 （長野県）		
			245ほ・ち・り 246は・へ 252い～に・へ・ち・ぬ		天 然 生 林			
			245イ～レ 246イ～ヨ 252イ～ホ		林 地 以 外			
	風 吹 ・ 大 池	115.98	630に・そ 636ほ・ち・ぬ	アオモリトドマツを主体とした亜高山性樹種の天然林からなり、山上湖を囲んでいる。日本海、北アルプス連峰等の眺望が良く、登山の基地として多くの利用者がいることから、風致探勝の場として適している。	天 然 生 林	・歩道 （小谷村）  ・野営場 （小谷村）		
			630イ・ロ		林 地 以 外			
	拇 池 湿 原	364.09	627よ1・そ 628れ1・ね	長野県小谷村「拇池自然園」に隣接した一帯であり、標高 1,900～2,200mにわたる池塘を含む高層湿原とわい小化した亜高山樹種の天然林からなっている。優れた高原景観を形成し、自然探勝の場を構成している。	天 然 生 林	・歩道 （小谷村）		
			627口		林 地 以 外			
	野 麦 峠	93.28	338い～は 340へ・ぬ・る・か・た・そ 341い～は・に・へ・ち・ぬ～よ 342い～は・ほ・と～る	旧野麦街道沿線及び野麦峠一帯にあり、峠や旧街道と一体となった自然景観を構成しており、自然探勝や憩いの場として利用されている。	育 成 複層林	・園地 （松本市）  ・駐車場 （松本市）		
			340わ・よ・れ・つ 341ほ・と・り 342に・へ		天 然 生 林			
			338イ、340イ・ロ 341イ、342イ		林 地 以 外			
計	4 箇所	1,119.35						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

(単位：ha)

施業 方法等	位置 (林小班)	面 積
育 成 複層林	249れ・そ 623に・ち~ぬ 624い・ろ・へ・ち~る・か・た~つ・な・ゆ 625い	35.69
天然生林	249リ・よ 623へ 624は・に・わ・ね・む・ひ・ん1 625ろ~へ・ち~る	116.90
林地以外	249イ~ハ 250イ~ホ 623口 624ハ	62.80

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備  
及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位:ha)

種 類	名 称	設定年	面 積	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	河鹿沢天然林	S 58年度	4.21	244や	天然林施業体系の確立
	雨飾山天然林	S 59年度	1.90	604わ	天然林施業体系の確立
試 験 地	白川カラマツ人工林収穫	S 37年度	1.23	1546は	
次 代 検 定 林	関長－6 (一般)	S 45年度	3.15	242た・れ	アカマツ
	関長－2 4 (一般)	S 53年度	0.35	236ま	スギ
	関長－3 4 (一般)	S 61年度	0.76	582よ	ヒノキ
	関長－3 5 (一般)	S 63年度	0.33	403と	ウラジロモミ
	関長－3 6 (一般)	S 63年度	0.49	403ち	チョウセンゴヨウマツ
遺 伝 子 保 存 林	長遺－2 0号	S 52年度	3.26	215へ	カラマツ
特 別 母 樹 林	特4 5－4	S 45年度	1.31	204は	カラマツ
	特4 5－5	S 45年度	1.68	85ろ	カラマツ
巨 樹 ・ 巨 木	ジャンボカラマツ	H 12年度	(3.59)	1554ほ林小班内	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」(林野庁長官通知)により選定。 ( ) 書きは、該当する林小班の面積。
森 林 施 業 モ デ ル 林	育成複層林施業 (針広混交林化)	H 11年度	3.88	244せ	山地災害防止タイプ

(単位:m)

種 類	名 称	設定年	延 長	位 置 (林小班)	備 考
溪畔保全フ°ロ シ°ェクト林	ミソ川	H 27年度	1,589	148と・ち・ね・な 149ね・は・に・な・ら	

(2) フィールドの提供

多様な活動の森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
あがりこサワラの森  (平成30年度設定)	7.28	587は	協 定 相 手 方 北安曇郡松川村  協 定 期 間 令和12年度末まで  目 的 馬羅尾国有林内の自然豊かな原生 林の森を後世に残すため、地域住民 が中心となり、環境保全整備や維持 管理の活動を実施する。



## その他附属資料

### (1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積 .....	1
---------------------	---

② 保安林、自然公園等の面積 .....	2
----------------------	---

(2) 機能類型別の国有林野の現況 .....	3
-------------------------	---

(3) 林道等の現況 .....	4
------------------	---

(4) 収獲予想表 .....	4
-----------------	---

(5) 地元施設等の現況 .....	4
--------------------	---

(1) 国有林野の現状

① 担当区別の区域及び面積

(単位:ha)

担 当 区	関係市町村	要存置林野		不要存置 林野面積	官行造林地 面 積
		面 積	関係林班		
有 明	安曇野市	6,584.87	201～221		
	松 川 村	926.83	582～587		
	小 計	7,511.70			
上 高 地	松 本 市	23,260.71	1～48、70～129		
大 野 川	松 本 市	10,205.20	49～69、130～180		
松 本	松 本 市	1,793.30	241～252		
	筑 北 村				56.63
	小 計	1,793.30			56.63
波 田	松 本 市	864.18	233～238、253		
	安曇野市	2,932.58	222～232		
	小 計	3,796.76			
奈 川	松 本 市	4,210.02	301～334、336～346、348～426		20.13
鹿 島	大 町 市	8,578.09	501～529		
松 川	大 町 市	21,372.82	530～567、569～581、588、589		
白 馬	白 馬 村	5,083.90	619～629		
小 谷	小 谷 村	7,132.26	601～618、630～636		
奈 良 井	塩 尻 市	3,479.20	1501～1568		
贄 川	塩 尻 市	2,547.86	1569～1585、1588～1619		
合 計		98,971.82			76.76

## ② 保安林、自然公園等の面積

(単位:ha)

区分		森林管理署別					
		中信		合計			
保安林	水源かん養保安林		50,759.02		50,759.02		
	土砂流出防備保安林		42,991.31		42,991.31		
	土砂崩壊防備保安林		93.45		93.45		
	飛砂防備保安林						
	防風保安林						
	水害防備保安林						
	潮害防備保安林						
	干害防備保安林		20.99		20.99		
	防雪保安林						
	防霧保安林						
	なだれ防止保安林		65.42		65.42		
	落石防止保安林						
	防火保安林						
	魚つき保安林						
	航行目標保安林						
	保健保安林	(10,380.52)	0.12	(10,380.52)	0.12		
	風致保安林						
	計	(10,380.52)	93,930.31	(10,380.52)	93,930.31		
	保安施設地区						
	砂防指定地	(18,855.40)	1,548.94	(18,855.40)	1,548.94		
制限林	特別保護地区	(21,675.15)	36.49	(21,675.15)	36.49		
	第一種特別地域	(11,101.51)	14.01	(11,101.51)	14.01		
	第二種特別地域	(10,902.98)	191.59	(10,902.98)	191.59		
	第三種特別地域	(5,402.92)	5.40	(5,402.92)	5.40		
	地種区分未定特別地域						
	計	(49,082.56)	247.49	(49,082.56)	247.49		
	特別保護地区						
	第一種特別地域	(308.26)	116.19	(308.26)	116.19		
	第二種特別地域	(70.74)	21.69	(70.74)	21.69		
	第三種特別地域	(1,331.96)	3.69	(1,331.96)	3.69		
	地種区分未定特別地域						
	計	(1,710.96)	141.57	(1,710.96)	141.57		
	第一種特別地域						
	第二種特別地域						
	第三種特別地域						
	地種区分未定特別地域						
	計						
	原生自然環境保全地域						
	自然環境保全地域特別地区						
	都道府県自然環境保全地域特別地区						
	鳥獣保護区特別保護地区	(9,226.68)	0.03	(9,226.68)	0.03		
普通林	都市緑地保全法による緑地保全地区						
	都市計画法による風致地区	(9.71)	0.05	(9.71)	0.05		
	林業種苗法による特別母樹林	(3.28)		(3.28)			
	史跡名勝天然記念物	(12,452.38)		(12,452.38)			
	種の保存法による管理地区						
	その他の制限林	(17.60)		(17.60)			
	制限林計	(101,739.09)	95,868.39	(101,739.09)	95,868.39		
	国立公園普通地区	(11,890.17)	999.66	(11,890.17)	999.66		
	国定公園普通地区						
	都道府県立自然公園普通地区						
	自然環境保全地域普通地区						
	都道府県自然環境保全地域普通地区						
	鳥獣保護区普通地区	(44,750.41)	44.94	(44,750.41)	44.94		
	種の保存法による監視地区						
	その他の法指定地域(普通林)						
	普通林計	(56,640.58)	1,044.60	(56,640.58)	1,044.60		
法指定地域合計		(158,379.67)	96,912.99	(158,379.67)	96,912.99		

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m³)

機能類型 林 種	山地災害防止タイプ						快速環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合 計	
	土砂流出崩壊防備			気象害防備			面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
	面積	材積	面積	面積	材積	面積										
人 工 林	5,481.96	1,319,830	786.04	210,073	6,268.00	1,529,903			4,295.30	1,038,157	26.71	6,719	352.78	85,292	10,942.79	2,660,071
小 計	75.36	19,363			75.36	19,363			73.86	16,069					149.22	35,432
天 然 林	5,557.32	1,339,193	786.04	210,073	6,343.36	1,549,266			4,369.16	1,054,226	26.71	6,719	352.78	85,292	11,092.01	2,695,503
育成単層林																
育成複層林	693.85	114,188	169.69	38,815	863.54	153,003			158.07	31,172	1.09	314	54.62	13,462	1,077.32	197,951
天然生林	38,022.17	5,342,292	4,566.10	616,117	42,588.27	5,958,409			1,358.48	271,172	22,867.60	2,719,078	970.91	177,170	67,785.26	9,125,829
小 計	38,716.02	5,456,480	4,735.79	654,932	43,451.81	6,111,412			1,516.55	302,344	22,868.69	2,719,392	1,025.53	190,632	68,862.58	9,323,780
無立木地									13.55						13.55	
竹 林																
林 地 計	44,273.34	6,795,673	5,521.83	865,005	49,795.17	7,660,678			5,899.26	1,356,570	22,895.40	2,726,111	1,378.31	275,924	79,968.14	12,019,283
林地以外	1,837.47		1,480.01		3,317.48				276.89		14,990.30		419.01		19,003.68	
合 計	46,110.81	6,795,673	7,001.84	865,005	53,112.65	7,660,678			6,176.15	1,356,570	37,885.70	2,726,111	1,797.32	275,924	98,971.82	12,019,283

## (3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			作業道
	自動車道	軽車道	合 計	
延 長	239		239	150

## (4) 収穫予想表

別表のとおり。

## (5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分		面 積
分 収 造 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林		85.43
分 収 育 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林		7.90
共 用 林 野	普 通	
	薪 炭	
	放 牧	78.12
	合 計	78.12
貸 地	植 樹 用 地	
	農 耕 用 地	0.36
	鉱 業 用 地	
	道 路 用 地	160.77
	水 路 用 地	4.61
	電 気 事 業 用 地	163.28
	温 鉱 泉 用 地	
	学 校 用 地	
	採 草 放 牧 地	13.36
	建 物 用 地	4.10
	そ の 他 貸 地	253.33
	合 計	599.81

## 別表

### 収穫予想表

スギ .....	1
ヒノキ・サワラ .....	2
カラマツ .....	3
アカマツ・クロマツ・レジノーサマツ・ストローブマツ・ヨーロッパアカマツ ...	4
天然ヒノキ・その他針葉樹 .....	5
広葉樹 .....	6

# 収 穫 予 想 表

適用コード： 001

樹 種：スギ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m3	連 年 成長量 m3	平 均 成長量 m3	幹材積 m3	幹材積 累 計 m3	幹材積 m3	連 年 成長量 m3	平 均 成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II													
III	6.6	4.2	2,677	22		1.5			22		1.5	22	22.2
IV	10.3	6.2	2,050	54	6.4	2.7	6	6	60	7.6	3.0	60	12.4
V	13.2	8.0	1,576	87	6.6	3.5	10	16	97	8.6	3.9	103	8.7
VI	15.7	9.7	1,282	121	6.8	4.0	11	27	132	9.0	4.4	148	6.7
VII	17.9	11.3	1,114	156	7.0	4.5	11	38	167	9.2	4.8	194	5.3
VIII	19.8	12.8	993	191	7.0	4.8	11	49	202	9.2	5.1	240	4.3
IX	21.5	14.1	900	225	6.8	5.0	11	60	236	9.0	5.2	285	3.6
X	22.9	15.4	931	258	6.6	5.2	10	70	268	8.6	5.4	328	3.0
X I	24.2	16.6	773	289	6.2	5.3	10	80	299	8.2	5.4	369	2.6
X II	25.4	17.8	725	318	5.8	5.3	10	90	328	7.8	5.5	408	2.1
X III	26.4	18.8	690	344	5.2	5.3	8	98	352	6.8	5.4	442	1.8
X IV	27.3	20.0		368	4.8	5.3	8	106	376	6.4	5.4	474	1.5
X V	28.2	21.0		389	4.2	5.2	7	113	396	5.6	5.3	502	1.3
X VI	28.9	21.8		408	3.8	5.1	6	119	414	5.0	5.2	527	1.1
X VII	29.6	22.6		425	3.4	5.0	5	124	430	4.4	5.1	549	0.8
X VIII	30.2	23.6		439	2.8	4.9	4	128	443	3.6	4.9	567	0.7
X IX	30.6	23.8		451	2.4	4.7	3	131	454	3.0	4.8	582	0.6
X X	31.0	24.3		462	2.2	4.6	2	133	464	2.6	4.6	595	0.4
X X I	31.4	24.8		471	1.8	4.5	1	134	472	2.0	4.5	605	0.3
X X II	31.6	25.3		478	1.4	4.3		134	478	1.4	4.3	612	0.2
X X III	31.8	25.8		483	1.0	4.2		134	483	1.0	4.2	617	0.2
X X IV	32.0	26.0		488	1.0	4.1		134	488	1.0	4.1	622	0.1
X X V	32.0	26.0		490	0.4	3.9		134	490	0.4	3.9	624	0.1
X X VI	32.0	26.0		492	0.4	3.8		134	492	0.4	3.8	626	0.1
X X VII	32.0	26.0		494	0.4	3.7		134	494	0.4	3.7	628	0.1
X X VIII	32.0	26.0		496	0.4	3.5		134	496	0.4	3.5	630	0.1
X X IX	32.0	26.0		498	0.4	3.4		134	498	0.4	3.4	632	0.1
X X X	32.0	26.0		500	0.4	3.3		134	500	0.4	3.3	634	0.1

# 収 穫 予 想 表

適用コード： 012

樹 種：ヒノキ、サワラ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川上流、中部山岳、千曲川下流、伊那谷、木曽谷

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積 累 計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	総収獲量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II				29			5	5					
III	6.6	4.1	2,878	43		2.9	6	11	49		3.3	54	10.2
IV	9.2	5.8	2,145	60	3.4	3.0	10	21	70	5.4	3.5	81	8.4
V	11.1	7.3	1,730	81	4.2	3.2	9	30	90	6.0	3.6	111	6.7
VI	12.8	8.5	1,486	104	4.6	3.5	8	38	112	6.2	3.7	142	5.4
VII	14.4	9.6	1,318	127	4.6	3.6	8	46	135	6.2	3.9	173	4.2
VIII	15.8	10.5	1,192	149	4.4	3.7	7	53	156	5.8	3.9	202	3.5
IX	17.0	11.4	1,100	171	4.4	3.8	6	59	177	5.6	3.9	230	3.0
X	18.1	12.3	1,036	193	4.4	3.9	5	64	198	5.4	4.0	257	2.6
X I	19.0	13.0	996	214	4.2	3.9	5	69	219	5.2	4.0	283	2.2
X II	19.9	13.7	960	234	4.0	3.9	5	74	239	5.0	4.0	308	2.0
X III	20.7	14.3	927	254	4.0	3.9	4	78	258	4.8	4.0	332	1.7
X IV	21.5	14.8	896	273	3.8	3.9	4	82	277	4.6	4.0	355	1.6
X V	22.2	15.3	867	291	3.6	3.9	4	86	295	4.4	3.9	377	1.3
X VI	22.9	15.8		306	3.0	3.8	4	90	310	3.8	3.9	396	1.1
X VII	23.6	16.2		320	2.8	3.8	3	93	323	3.4	3.8	413	0.9
X VIII	24.2	16.6		332	2.4	3.7	3	96	335	3.0	3.7	428	0.8
X IX	24.8	17.0		343	2.2	3.6	3	99	346	2.8	3.6	442	0.7
X X	25.4	17.3		353	2.0	3.5	3	102	356	2.6	3.6	455	0.6
X X I	25.9	17.6		362	1.8	3.4	2	104	364	2.2	3.5	466	0.5
X X II	26.4	17.8		369	1.4	3.4	2	106	371	1.8	3.4	475	0.5
X X III	26.9	18.0		376	1.4	3.3	2	108	378	1.8	3.3	484	0.4
X X IV	27.3	18.2		382	1.2	3.2	1	109	383	1.4	3.2	491	0.3
X X V	27.7	18.4		387	1.0	3.1		109	387	1.0	3.1	496	0.2
X X VI	28.1	18.6		391	0.8	3.0		109	391	0.8	3.0	500	0.2
X X VII	28.5	18.8		395	0.8	2.9		109	395	0.8	2.9	504	0.2
X X VIII	28.8	19.0		399	0.8	2.9		109	399	0.8	2.9	508	0.1
X X IX	29.1	19.1		401	0.4	2.8		109	401	0.4	2.8	510	0.1
X X X	29.4	19.2		403	0.4	2.7		109	403	0.4	2.7	512	0.1



収 穫 予 想 表

適用コード： 022

樹 種：カラマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：神通川、庄川、千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷  
宮・庄川、飛騨川、長良川、揖斐川、木曽川、尾張西三河、東三河

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積 累 計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	総収獲量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II	5.6	5.2	1,800	13	5.0	1.3			13	5.8	1.3	13	26.4
III	8.9	7.9	1,471	38		2.5	4	4	42		2.8	42	
IV	12.4	10.2	1,161	72	6.8	3.6	9	13	81	8.6	4.1	85	16.3
V	14.7	12.0	936	96	4.8	3.8	10	23	106	6.8	4.2	119	8.0
VI	17.0	13.6	762	117	4.2	3.9	12	35	129	6.6	4.3	152	6.1
VII	19.1	14.9	646	138	4.2	3.9	12	47	150	6.6	4.3	185	5.1
VIII	20.9	16.0	561	158	4.0	4.0	12	59	170	6.4	4.3	217	4.3
IX	22.7	17.1	501	174	3.2	3.9	11	70	185	5.4	4.1	244	3.2
X	24.1	17.9	462	190	3.2	3.8	9	79	199	5.0	4.0	269	2.7
X I	25.4	18.8	434	205	3.0	3.7	8	87	213	4.6	3.9	292	2.3
X II	26.6	19.4	415	221	3.2	3.7	6	93	227	4.4	3.8	314	2.1
X III	28.0	20.0		233	2.4	3.6	5	98	238	3.4	3.7	331	1.5
X IV	29.0	20.0		243	2.0	3.5	4	102	247	2.8	3.5	345	1.2
X V	30.0	21.0		253	2.0	3.4	3	105	256	2.6	3.4	358	1.0
X VI	31.0	21.0		261	1.6	3.3	2	107	263	2.0	3.3	368	0.8
X VII	31.0	22.0		266	1.0	3.1	2	109	268	1.4	3.2	375	0.5
X VIII	32.0	22.0		271	1.0	3.0	2	111	273	1.4	3.0	382	0.5
X IX	33.0	22.0		275	0.8	2.9	1	112	276	1.0	2.9	387	0.4
X X	33.0	22.0		280	1.0	2.8	1	113	281	1.2	2.8	393	0.4
X X I	34.0	23.0		283	0.6	2.7		113	283	0.6	2.7	396	0.2
X X II	35.0	23.0		285	0.4	2.6		113	285	0.4	2.6	398	0.1
X X III	35.0	23.0		287	0.4	2.5		113	287	0.4	2.5	400	0.1
X X IV	36.0	23.0		289	0.4	2.4		113	289	0.4	2.4	402	0.1
X X V	36.0	23.0		290	0.2	2.3		113	290	0.2	2.3	403	0.1
X X VI	37.0	23.0		291	0.2	2.2		113	291	0.2	2.2	404	0.1
X X VII	37.0	23.0		292	0.2	2.2		113	292	0.2	2.2	405	0.1
X X VIII	37.0	23.0		292	0.0	2.1		113	292	0.0	2.1	405	0.0
X X IX	37.0	23.0		292	0.0	2.0		113	292	0.0	2.0	405	0.0
X X X	37.0	23.0		292	0.0	1.9		113	292	0.0	1.9	405	0.0

収 穫 予 想 表

適用コード： 021

樹 種：アカマツ、クロマツ、レジノーマツ、ストロブマツ、ヨーロッパアカマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曾谷

齢 級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					成長率 %
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積 累 計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	総収獲量 m <sup>3</sup>	
I													
II	2.4	2.8	3,170	14	2.8	1.4			14	2.8	1.4	14	14.9
III	5.0	4.8	2,680	28	3.2	1.9			28	3.6	1.9	28	10.4
IV	7.9	6.7	2,130	44	3.2	2.2	2	2	46	5.0	2.3	46	9.4
V	10.9	8.5	1,565	60	3.2	2.4	9	11	69	6.2	2.8	71	8.7
VI	13.6	10.0	1,100	76	3.0	2.5	15	26	91	6.0	3.0	102	6.9
VII	16.2	11.4	815	91	3.0	2.6	15	41	106	5.8	3.0	132	5.7
VIII	18.8	12.7	640	106	3.0	2.7	14	55	120	5.2	3.0	161	4.5
IX	21.0	13.8	545	121	2.6	2.7	11	66	132	4.8	2.9	187	3.7
X	22.9	14.7	478	134	2.6	2.7	11	77	145	4.6	2.9	211	3.2
X I	24.8	15.6	421	147	2.4	2.7	10	87	157	4.4	2.9	234	2.8
X II	26.6	16.4	374	159	2.2	2.7	10	97	169	3.6	2.8	256	2.2
X III	27.9	17.0	350	170	2.2	2.6	7	104	177	3.4	2.7	274	1.9
X IV	29.2	17.6	330	181	2.0	2.6	6	110	187	3.0	2.7	291	1.6
X V	30.0	18.0		191	2.0	2.5	5	115	196	2.8	2.6	306	1.4
X VI	31.0	19.0		201	1.8	2.5	4	119	205	2.4	2.6	320	1.2
X VII	32.0	19.0		210	1.4	2.5	3	122	213	1.8	2.5	332	0.8
X VIII	33.0	20.0		217	1.0	2.4	2	124	219	1.2	2.4	341	0.5
X IX	34.0	20.0		222	0.8	2.3	1	125	223	0.8	2.3	347	0.4
X X	34.0	20.0		226	0.4	2.3		125	226	0.4	2.3	351	0.2
X X I	35.0	21.0		228	0.4	2.2		125	228	0.4	2.2	353	0.2
X X II	35.0	21.0		230	0.4	2.1		125	230	0.4	2.1	355	0.2
X X III	36.0	21.0		232	0.4	2.0		125	232	0.4	2.0	357	0.2
X X IV	36.0	22.0		234	0.4	2.0		125	234	0.4	2.0	359	0.2
X X V	36.0	22.0		236	0.2	1.9		125	236	0.2	1.9	361	0.1
X X VI	36.0	22.0		237	0.2	1.8		125	237	0.2	1.8	362	0.1
X X VII	37.0	22.0		238	0.2	1.8		125	238	0.2	1.8	363	0.1
X X VIII	37.0	22.0		239	0.2	1.7		125	239	0.2	1.7	364	0.1
X X IX	37.0	22.0		240	0.0	1.7		125	240	0.0	1.7	365	0.0
X X X	37.0	22.0		240		1.6		125	240		1.6	365	

収 穫 予 想 表

適用コード： 032

樹 種：その他針葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積 累 計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	総収獲量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II													
III													
IV	5.3	3.6	2,760	27	3.0	1.4			27	3.4	1.4	27	10.3
V	7.8	4.4	2,400	42	3.4	1.7	2	2	44	4.2	1.8	44	8.4
VI	9.4	5.5	2,100	59	4.0	2.0	4	6	63	5.2	2.1	65	7.6
VII	11.0	6.7	1,840	79	4.4	2.3	6	12	85	5.8	2.4	91	6.5
VIII	12.5	8.0	1,630	101	4.8	2.5	7	19	108	6.2	2.7	120	5.5
IX	14.3	9.1	1,430	125	4.6	2.8	7	26	132	6.4	2.9	151	4.7
X	16.1	10.2	1,270	148	4.4	3.0	9	35	157	6.4	3.1	183	4.0
X I	17.7	11.1	1,130	170	4.2	3.1	10	45	180	6.4	3.3	215	3.5
X II	19.2	12.0	1,020	191	4.2	3.2	11	56	202	6.4	3.4	247	3.1
X III	20.7	12.7	910	212	4.0	3.3	11	67	223	6.4	3.4	279	2.9
X IV	22.3	13.3	820	232	3.6	3.3	12	79	244	6.2	3.5	311	2.5
X V	23.7	13.9	740	250	3.2	3.3	13	92	263	5.8	3.5	342	2.2
X VI	25.0	14.5	660	266	2.8	3.3	13	105	279	5.2	3.5	371	1.9
X VII	26.0	15.0		280	2.4	3.3	12	117	292	4.6	3.4	397	1.6
X VIII	27.0	16.0		292	2.2	3.2	11	128	303	4.2	3.4	420	1.4
X IX	28.0	16.0		303	1.8	3.2	10	138	313	3.6	3.3	441	1.2
X X	29.0	16.0		312	1.6	3.1	9	147	321	3.2	3.2	459	1.0
X X I	30.0	17.0		320	1.4	3.0	8	155	328	2.8	3.1	475	0.9
X X II	31.0	17.0		327	1.0	3.0	7	162	334	2.2	3.0	489	0.7
X X III	31.0	17.0		332	1.0	2.9	6	168	338	2.0	2.9	500	0.6
X X IV	32.0	18.0		337	0.8	2.8	5	173	342	1.6	2.9	510	0.5
X X V	32.0	18.0		341	0.6	2.7	4	177	345	1.2	2.8	518	0.3
X X VI	33.0	18.0		344	0.6	2.6	3	180	347	1.2	2.7	524	0.3
X X VII	34.0	18.0		347	0.4	2.6	3	183	350	0.8	2.6	530	0.2
X X VIII	34.0	18.0		349	0.6	2.5	2	185	351	0.8	2.5	534	0.2
X X IX	34.0	18.0		352	0.4	2.4	1	186	353	0.6	2.4	538	0.2
X X X	34.0	18.0		354		2.4	1	187	355		2.4	541	0.2

収 穫 予 想 表

適用コード： 042

樹 種：広葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齢 級	主 林 木						副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸 高 直 径 c m	樹 高 m	本 数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積 累 計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連 年 成長量 m <sup>3</sup>	平 均 成長量 m <sup>3</sup>	総収獲量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II													
III													
IV	7.0	6.4	2,150	25	2.0	1.3	5	5	30	3.2	1.5	30	10.4
V	8.3	7.7	1,600	35		1.4	6	11	41		1.6	46	
VI	9.8	9.7	1,215	47	2.4	1.6	9	20	56	4.2	1.9	67	9.9
VII	11.6	11.1	970	59	2.4	1.7	9	29	68	4.2	1.9	88	7.7
VIII	13.4	12.4	810	71	2.4	1.8	10	39	81	4.4	2.0	110	6.5
IX	15.2	13.2	700	84	2.6	1.9	10	49	94	4.6	2.1	133	5.8
X	17.0	14.8	615	100	3.2	2.0	10	59	110	5.2	2.2	159	5.5
X I	18.7	15.9	540	115	3.0	2.1	10	69	125	5.0	2.3	184	4.6
X II	20.4	17.0	480	127	2.4	2.1	11	80	138	4.6	2.3	207	3.7
X III	21.9	17.8	430	138	2.2	2.1	11	91	149	4.4	2.3	229	3.2
X IV	23.6	18.6	390	149	2.2	2.1	11	102	160	4.4	2.3	251	3.0
X V	25.2	19.3	350	158	1.8	2.1	12	114	170	4.2	2.3	272	2.7
X VI	26.8	20.0	320	168	2.0	2.1	11	125	179	4.2	2.2	293	2.5
X VII	28.0	21.0		176	1.6	2.1	10	135	186	3.6	2.2	311	2.1
X VIII	29.0	21.0		184	1.6	2.0	10	145	194	3.6	2.2	329	2.0
X IX	30.0	22.0		190	1.2	2.0	10	155	200	3.2	2.1	345	1.7
X X	31.0	22.0		195	1.0	2.0	10	165	205	3.0	2.1	360	1.5
X X I	32.0	23.0		200	1.0	1.9	9	174	209	2.8	2.0	374	1.4
X X II	32.0	23.0		206	1.2	1.9	7	181	213	2.6	1.9	387	1.3
X X III	33.0	23.0		210	0.8	1.8	6	187	216	2.0	1.9	397	1.0
X X IV	34.0	24.0		213	0.6	1.8	4	191	217	1.4	1.8	404	0.7
X X V	34.0	24.0		216	0.6	1.7	3	194	219	1.2	1.8	410	0.6
X X VI	34.0	24.0		218	0.4	1.7	2	196	220	0.8	1.7	414	0.4
X X VII	35.0	24.0		220	0.4	1.6	1	197	221	0.6	1.6	417	0.3
X X VIII	35.0	24.0		222	0.4	1.6		197	222	0.4	1.6	419	0.2
X X IX	35.0	25.0		223	0.2	1.5		197	223	0.2	1.5	420	0.1
X X X	35.0	25.0		224	0.2	1.5		197	224	0.2	1.5	421	0.1